

年間 1,000 本以上の地域情報番組を制作する愛媛 CATV スモールスタートからのアーカイブ化で映像資産の利活用へ

株式会社 愛媛 CATV 様

導入前の課題

- 撮りためた膨大な数の映像資産の管理方法に課題を抱えていた
- デジタル化を検討するも手間とコストから手をつけられず

導入後の効果

- 毎月決まった予算範囲のなかで映像資産を計画的にデジタル化
- 過去の番組を再放送する「リクエストアワー」への活用を実現

導入のポイント 課題解決にジャストフィットする「Off-line storage/Terra sight」を採用

愛媛 CATV の最大の特長は、地域情報番組を放送するコミュニティチャンネルが充実している点だ。コミュニティチャンネル数は全国トップクラスの 14 チャンネルにも及び、生中継番組を含む年間 1,000 本以上の番組を制作・放送している。そのため膨大な数の映像資産があり、それらをどのように管理していくかといった課題を抱えていた。

そうしたなか、愛媛 CATV は寺田倉庫のサービスを知ることになる。「業界イベントに参加した当社社長から『寺田倉庫がメディア保管とデジタルアーカイブのサービスを提供している』という話を聞いて調べてみたところ、当社の課題解決にジャストフィットするものでした」（白石氏）

しかし、愛媛 CATV にはサービスの利用を即決できない事情もあった。「当社には大量の映像テープがあります、それらを一度にデジタル化するだけの予算は取れません。すると寺田倉庫から、毎月の予算範囲のなかで本数を決めて順番にデジタル化が可能という提案がありました。当社の事情に合わせ、サービスメニューとして用意されていない部分にも柔軟に対応してくれることが決め手となり、2016 年に寺田倉庫のサービスを利用することにしました」（白石氏）



株式会社 愛媛 CATV
専務取締役
白石 成人氏

こうして寺田倉庫のデータストレージとコンテンツ管理サービス「Off-line storage / Terra sight」の利用を開始した愛媛 CATV では、社内で保管していた映像テープを寺田倉庫に預け、毎月決まった本数を計画的にデジタル化している。

導入の効果 現場に負担をかけることなく映像資産の保管・検索が可能に

愛媛 CATV が Off-line storage / Terra sight の利用を開始してから 6 年あまりが経過し、現在まで順調に映像テープのデジタル化が進んでいる。「最も導入効果を感じているのは、コストを抑えながらデジタルアーカイブへの移行をストレスなく確実に進められているところです。どの映像から順番にデジタル化していくかも含め、基本的に寺田倉庫に任せることができるので、当社側の作業負

荷はほとんどかかりません。デジタル化が終わった映像であれば映像タイトルなどの情報をキーワードにして Terra sight の画面上から簡単に検索することができます」（藤田氏）

また白石氏は、新たな番組づくりへ活用できるようになったことも導入効果の一つに挙げる。「過去の映像資産を活用した番組が容易に制作できるようになったことは、非常に大きな効果です。実は 2022 年 10 月 6 日から、過去の番組を再放送する『リクエストアワー』を開始しました。30 年以上にわたってコミュニティチャンネルで放送してきた数万本に及ぶ番組を対象に、視聴者のリクエストを募って過去を振り返り、地域コミュニティのさらなる発展に貢献する番組になることを期待しています」（白石氏）



株式会社 愛媛 CATV
技術・放送本部 放送部 課長
藤田 研吾氏

今後の展望 デジタル化した映像資産を活用したビデオ・オン・デマンド放送を検討

現在も映像資産のデジタル化に取り組む愛媛 CATV だが、今後はデジタルアーカイブした映像資産をさらに活用したビデオ・オン・デマンド（VOD）放送の提供も検討しているという。「寺田倉庫の Off-line storage / Terra sight で管理している映像資産のデジタルアーカイブを最大限に活用できるのは、VOD の仕組みだと考えています。しかも、これは地域の視聴者の皆さんに楽しんでいただける新しいコンテンツサービスと位置づけています」（白石氏）

番組制作の現場では、放送が始まったリクエストアワーをはじめ、過去の映像資産をさらに活用する番組づくりを加速させていく考えだ。「現在はデジタル化された映像コンテンツの検索・活用は社内だけに限られています。今後は視聴者が番組内容を簡単に検索できる仕組みも整備するなど、映像資産のさらなる活用を進めたいと思います」（藤田氏）

今後も Off-line storage / Terra sight は、愛媛 CATV が保有する大量で貴重な映像資産を「地域の記憶」として大切に保管し続けていくことだろう。

株式会社 愛媛 CATV

本社所在地	〒790-8509 愛媛県松山市大手町1-11-4		
設立	1989年8月22日	資本金	8億600万円
従業員数	180名		
事業内容	愛媛県松山市など7市町をサービスエリアとするケーブルテレビ放送事業、有線・無線インターネットサービス事業、固定・携帯電話サービス事業、保育事業ほか		
URL	https://www.e-catv.ne.jp/		



◀◀ 本事例記事のフルバージョンはこちら
<https://www.terrada.co.jp/ja/service/data-storage/terra-sight/e-catv/>

寺田倉庫株式会社 アーカイブ事業グループ

芝浦メディアセンター：〒108-0022 東京都港区海岸3-24-12 オペレーションオフィス
Tel：03-5439-6200 Email：info_fc@terrada.co.jp

※取材 2022年11月 ※記載の担当部署は、取材時の組織名です。
※Off-line storage、Terra sightは寺田倉庫株式会社の登録商標です。